



令和5年12月
No.5
管理者 岩槻愛子

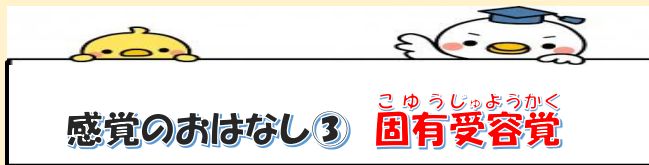
～児童発達支援～

寒さもひとしお身にしみる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

本年は8月より放課後等デイサービスから児童発達支援事業が分離し、単独での事業開始となりましたが、ほっぷでは体幹(体の軸)を育てることを中心に支援を行っております。体幹が弱いと呼吸が浅くなりストレスを抱えやすくなり、痙攣を起こすことにも繋がり、体幹が弱いことは、想像以上に子どもの心身の成長に影響を与えます。全身をバランス良く発達させるには、体の軸になる体幹を育てることが大事とのことです。このことを踏まえ、今後とも専門職の指導のもと、子どもたちが楽しく体幹トレーニングができるように支援していきたいと思っております。

間もなく冬至になりますが、冬至は一年の中で最も日照時間が短く夜が長い日です。この日にかぼちゃを食べ、ゆず湯に入ると風邪をひかなくなるという習わしがありますので、ゆずとかぼちゃのパワーをもらって、元気にこの冬を乗り越えましょう。

本年も保護者の皆様のご協力のおかげで、子どもたちは健やかに成長し、そして私達職員もスムーズに支援活動を行うことができました。また来年も引き続き宜しくお願い致します。



固有受容覚は自分の身体各部の位置や動き、力の入れ具合などを感じる感覚です。筋肉や関節を通じて感じます。固有受容覚には主に6つのはたらきがあります。

- ① 力を加減する
- ② 運動をコントロールする
- ③ ポテイイメージの発達
- ④ 重力に抗して姿勢を保つ(抗重力姿勢)
- ⑤ バランスをとる
- ⑥ 情緒を安定させる

固有受容覚にトラブルがあると、手足を動かしている感覚がわかりにくく、力加減や運動のコントロールが難しくなります。例えば、友達の肩を「ねえねえ」と触るとき、力加減がうまくいかず「バシバシ」と叩いてしまったりします。また、固有受容覚の情報をとらえにくいと、もっと感覚を得ようとして自分で感覚刺激を取り入れる行動(つねる、叩く、蹴る、噛むなど)を取ることがあります。他にも身体や手の使い方が不器用で、ダンスや体操のような複雑な運動や、「スキップ」「ケンケンパ」など手足を協調的に使う活動が苦手だったり、箸をうまく操作できない、ボタンをうまくはめられないなどといった姿がみられます。



～セミナーしあきまつり～

11月11日(土)に「セミナーしあきまつり」をすてっぷ前広場で開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、野菜や果物、焼き鳥は終了時間前に完売し、ピエロによるバルーンアートも大盛況でした。

ご家族様をはじめ、地域の方々にもたくさんご来場していただきましたことに、心より厚く御礼申し上げます。来年はより一層内容を充実させ、皆様楽しんでいただけるお祭りを企画しておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



佐々木作業療法士 来所予定日

12月12日(火)・12月28日(木)

※お子様の発達について質問や相談などがありましたらお気軽に職員にお声がけください。

特定非営利活動法人セミナーレ ほっぷ
988-0318
宮城県気仙沼市本吉町登米沢24番地1
☎ :0226-25-7710
FAX :0226-25-7764
✉ :seminare@iaa.itkeeper.ne.jp



～クリスマスせいさく～



たくさん体を動かしたあとは…おみせやさんごっこ、めいえ、おえかき、ねんど、すなあそびなど…みんなで楽しくあそんでいます😊



おてつだいがんばいしました！
小さなごみを見つけながら、すみずみまでしっかり掃除機をかけることができました。テーブルふきもがんばりました。